

三島市長選

2018年(平成30年)11月23日(金)

伊豆日日新聞

立候補予定の3氏討論

三島JC 政治姿勢や決意聞く



少子高齢化問題や経済発展語る

三島青年会議所(三島JC、佐藤良太理事長)は21日夜、任期満了に伴う三島市長選(12月9日告示、16日投票)を前に公開討論会を三島市民文化会館で開いた。出馬を予定する現職豊岡武士氏(75)、新人の県議宮沢正美氏(69)、経営コンサルタント会社社長石井真人氏(39)の3人をパネリストに招き、政治姿勢を聞いた。

最後に3氏が市民に決意を訴えた。宮沢氏は「リノベーションを起す。共生、協働を掲げている。力を合わせ前に進む三島を目指す」、豊岡氏は「8年間、市政に努めた。さらに元気で安心、若者が希望を持てるよう決意している」、石井氏

したほうがよい。南北自由通路を基本に据えて取り組みたい」、豊岡氏は2氏の質問に答える形で「駅前再開発は30年間、努力してきた。企業の撤退もありえ、三島の損失になる。造る必要がある」などと話した。

豊岡氏 「若者が希望持つ町」
宮沢氏 「力合わせ前に進む」
石井氏 「何すべきか考える」

討論会は3テーマに論も行き、市財政健全化について3氏が制限時間、防災対策、学校教育で回答した。テーマ育について語った。①若者の流出を含め、②は石井氏が「駅だけでなく、少子高齢化問題②企業支援、観光客の誘致、全体でどうすべきか考、商店街活性化等の経済、公共施設の老朽化など諸課題を整理し、③三島駅周辺を、三島駅周辺の発展と可、宮沢氏は「現行案は課題性。この他、自由討が多い。見直して協議」

1) 16087へ。